



2020年3月



22期東海教区女性会
発行責任者*坂井茂子

22期 主題：わたしたちはぶどうの枝

～～まことのぶどうの木につながって～～

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である
人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば
その人は豊かに実を結ぶ。 [ヨハネによる福音書15章5節]

<巻頭言>

「この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、『渴く』と言われた。」
(ヨハネによる福音書19章28節)

浜松・浜名教会牧師 渡邊克博



ぶどうの木を見たことはありますか。幹の部分は一見すると枯れているかのようにカサカサして、弱そうで、他の木で支えなければ倒れてしまいそうです。一方、枝の方は、葉が茂り、収穫の時期には果実が実ります。ところが、その枝を幹から切り離しては、果実は実りません。

ぶどうの木であるイエスさまの生涯の果てに、十字架の苦難があり、イエスさまは十字架の上で「渴く」と言われました。英語で「I thirst」です。私がインドのマザーテレサの修道院にボランティアに行った時、キリストの渴きを表すようなマザーテレサの言葉を知りました。「I thirst, I quench (私は渴き、私は潤す)」です。インドでの大変なボランティア生活で、私は何度となく渴き、そして、キリストに潤されました。大切なのは、イエスさまの潤いが私たちを潤し、それによってイエスさまご自身が渴かれたということです。本当に、ぶどうの木の幹は見た目には生きているのか、枯れているのかわからないような外見ですが、その幹の中には、枝葉のための命の水が流れているのです。そして、イエスさまは、十字架の上で、私たちの渴きをご自分の渴きとされ、ご自分の潤いを私たちの潤いとされたのです。イエスさまの十字架の渴きが、私たちを潤しているのです。

イエスさまは「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい」とおっしゃいますが、隣人を愛することは大変です。気づかないうちに、私たちの方がカサカサになり枯れてしまいます。ところが、キリストと繋がっていれば、私たちに流れ込む愛は尽きません。キリストとの繋がりは、私たちの人生の日照りのようなとき、苦しいとき、もう先が見えないときでも、私たちに命の水を常に流し続け、私たちに不思議な平安をもたらします。だから、私たちも心から愛が枯れるほどに、隣人を愛することができるのです。

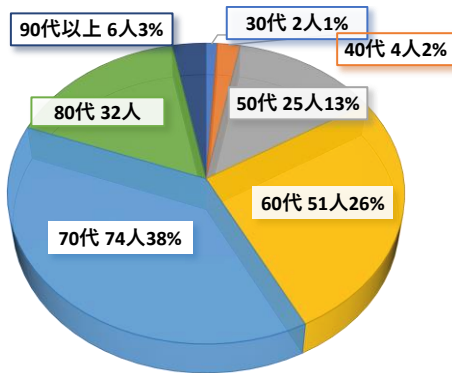
会長会を振り返って

教区会長 坂井茂子

2019年11月16日、掛川菊川教会にて明比輝代彦牧師の礼拝のもと、50名の各教会女性会会員の皆様と共に開催でき感謝します。

前半は横田弘行牧師より、タンザニアのブルンジ難民支援活動を映像と共に感動しながら講演をお聞きしました。会長会の感想を次ページに寄せて頂きました。

後半では今後の女性会のあり方と次期役員候補選出について、3グループに分かれ意見交換しま



した。左のデータから会員の減少と高齢化が見て取れます。そのような悩み多い現状から、皆さんに前向きな話し合いをお願いしましたところ、希望あるお話しも聴く事ができました。A,B,Cブロック別のご意見を下に記載しました。

神様のお恵みとお助けにより、会員皆様のご理解、ご協力で早く役員をお引き受け頂けるものと信じて前に進みたいと思います

正会員 194名 (前期-20名) 平均年齢約 71歳

会長会 3ブロックの話し合い

Aブロック 東静、駿遠 21名

- ・役員を支えたい、集いの講演会の学びは大きい
- ・各ブロックから1名役員候補を推薦してほしい
- ・女性会の役目として今後シルバー支援の場となってほしい。
- ・役員経験で意見交換でき、交わりも出来た。皆さん奉仕して頂きたい
- ・フルタイムで働いていてもパソコン、携帯で連絡できる。
- ・今まで先輩が連盟・教区を築いて来たので継続して頂きたい



Bブロック 三遠 8名

- ・70代で教会の役員をしているが、他の会員は忙しい
- ・CSには若いお母さん参加している。開かれた教会を目指す
- ・高齢で病気がち、集会は義務的に参加している
- ・若い人は忙しいので、役員を連続している

Cブロック 尾張 13名

- ・役員経験して信仰の共ができ信仰も支えられた。又女性会を変える時期、会報献金を見直す
- ・全体会(集い)色々体験できた。自分の教会の女性会をしっかりする必要あり
- ・現状の連盟に疑問、組織の改革必要では
- ・女性会の役員は重荷、連盟の活動もピンとこない、活動を縮小する必要あり?
- ・外に向けて支援し、助ける喜びを体験することで、教会は元気になる
- ・全体会は年1回シンプルに、60, 70, 80代が活躍できる女性会を作っていく
- ・数年前から役員選出を推薦でしてきたが規約は選挙 総会で議論必要あり



ご参加下さった皆様
貴重なご意見ありがとうございます。
女性会を皆様と一緒に
発展させてゆきましょう

「つながる喜び」～東海教区女性会会長会に参加して～

大垣教会 斎藤末理子

掛川菊川教会を会場に開催された会長会。午前中は礼拝に続いて横田弘行牧師から「ブルンジ難民支援活動」についての講演を伺いました。アフリカ・タンザニアの難民キャンプに古着を送る活動を長年続けて来られたご夫妻の活動の様子を身近に知ることができました。ご苦勞を重ねながらこの支援を継続された先生のお働きの源は、聖書で「あなたも行って同じようになさい」と言われたイエス様のお言葉であると知り深く感動しました。

午後からは3地区に分かれて、女性会の在り方や役員選出方法などについて率直な話し合いがなされました。主の枝である女性会連盟につながる私達一人一人が悩みながらも信仰を分かち合い励まし合う喜びを実感したひと時でした。

細やかな準備をしてくださった教区役員の方々、温かなおもてなしをしてくださった掛川菊川教会の女性会の方々に感謝いたします。「私につながっていなさい。そうすればあなた方は豊かに実を結ぶ」とのイエス様のお言葉が胸に迫る集会でした。ありがとうございました。



『会長会と講演』に出席して

掛川菊川教会 山内浩子

木々の葉が色づき、秋の深まりが感じられる11月16日(土)掛川菊川教会において『会長会』が行われました。小さな群れの礼拝所に、多くの方が集い、共に御言葉を聞き讃美し、よき交わりが出来たことは、大きな喜びでした。

午前には、横田弘行師の「タンザニア・ブルンジ難民支援活動」の講演が行われました。この活動については、横田先生が掛川菊川教会の牧師を務めておられた頃、タンザニアからゲストをお迎えして紹介され、女性会が中心となり、多くの衣類や石鹸などを送りました。

私たちはこの活動により、遠く離れたアフリカ・タンザニアの人々へ関心が向けられました。

午後はグループに分かれて、各女性会の現状や課題など話し合いましたが、会員の高齢化や減少は共通でした。私が子育ての頃、母と幼子が礼拝所に、集い一緒に過ごし、悩みを語り合う

「サークル」がありましたが、現在は各地域に「子育て支援センター」が完備されサークルはなくなり時折、地元の演奏家によるコンサートを行っています。

「役員候補選出について」は既に役員をされた方から「一歩踏み出すことで、他の会員と交わりが出来た」「希望や勇気が与えられ信仰が深められた」などの感想が述べられました。

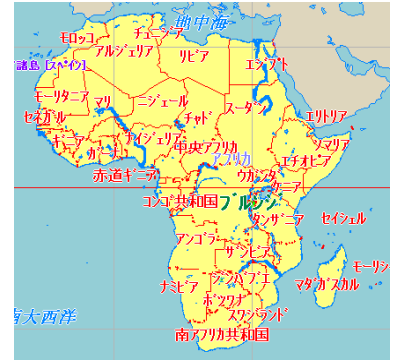
役員の尊いお働きの神様は、祝福と恵みをお与えて下さる事でしょう。



ブルンジ難民支援の講演を聴いて

名古屋めぐみ教会 鈴木貴美子

内戦による混乱で隣国のブルンジから大勢の難民が押し寄せ、4カ所のキャンプに15万人以上の方が不自由な生活を強いられていました。ルーテル世界連盟中心に支援活動が始まり、日本でも20年前から古着を送る運動が清水教会の横田牧師を中心に行われ、全国に広がりました。横田牧師ご夫妻は古着がキャンプに届いているか確認するために、タンザニアの首都からでこぼこ道を車で10時間かけて4つの難民キャンプを訪問し、2週間ほどの滞在を度々されたそうです。



講演の中でスクリーンに映っていたのは我先にと古着を夢中で掴もうとする難民キャンプの人々でした。「大河1滴かも知れないが、やるしかありません。」と言いつつ困難なことに時間をかけて奉仕する横田牧師夫妻の姿に神様のご意志が働いていると感じました。私たちの捨てようとする古着もキャンプでは必需品です。教会に帰り、この講演のことをみんなに伝えたいと思いました。

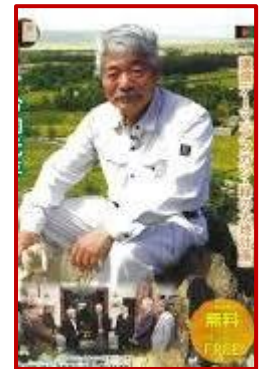
主題聖句「わたしはぶどうの木、あなた方はその枝である。」(ヨハネ15章5節) 掛川礼拝所は静かな恵みに包まれた小さな教会でしたが参加者の肩と肩が触れ合いぶどうの木に繋がっているようで、一人でないことを感じた時間でした。この会を企画してくださった教区役員の方々、暖かく迎えてくださった掛川菊川教会の皆さんに感謝いたします。

「祈り続け、水やりを！」

内藤文子(栄光教会牧師)

昨年(2017)の12月4日、衝撃的なニュースが流れた。アフガニスタンで、中村哲医師(ペシャワール会、バプテスト教会所属)が銃弾を受け、亡くなったのだ。悲しみの涙がとめどなく流れた。

思い出すのは、2017年9月5日、中村さんが帰国し報告会が静岡グランシップで行われ、教会の友人にさそわれ集い、聞く機会を得た。医師として医療活動に入ったが、実際、現地で「水」こそが、必要だと考えた師は、現地の人々と共に、井戸を掘り、砂漠に木を植えた。赤ちゃんのかぶれた真っ赤なお尻が水できれいに洗われ、砂漠は緑に溢れて行った。しかし写真で示され説明を受けたその奉仕活動は、1年～20年にわたる、気が遠くなる位息の長いひたすら祈りのような作業であった。



中村哲医師

「防風林と言え、植えるだけと知っている人はいませんか。違うのです。

土地に合った木を一本一本選び育て、ひたすら毎日水やりです。自然相手はただ根気、何があってもただ水やり、疲れていてもただ水やり、邪魔されてもただ水やり。魔法の薬はありません」



淡々と語られる中村医師の言葉は、私に生きる指針を与えてくれた。「ただ、今日も水やりを！」私たちの伝道と繋がるものがあるように思う。主に示され、愛を運ぶ奉仕の業。奉仕そのものは毎日の水やりのように、目立たず、時には孤独である。しかし続けることで、主に示される恵は必ず実る。私は東海教区で育てて頂きました。

初めは「大丈夫だろうか」とさえ自分で思っていた教職の道を、特に女性会と、喜び悲しみ共に進み歩めたことが輝くような思い出です。感謝

牧場の穫感謝祭に思うこと

まきばの家こどもの家 後援会長 稲垣八重子

収穫感謝祭は牧場の歴史の苦難のなかで、喜びを見つけようとした叫びであり、一年を振り返り成長を感謝するお祭りです。「こどもの家」に最愛の子を預けざるを得なかった「不登校」時代。子どもを取り巻く環境は「虐待」という惨い親子関係から、親から離され施設「まきばの家」で大家族を作っています。命を守り、一人ひとりの子どもの抱える問題に向き合い、若い職員は子どもたちを育てることに懸命に取り組んでいます。退職された松田施設長は感謝祭の挨拶で繰り返えされた言葉があります。「死ぬなよ・ヤクザになるな・ホームレスになるな」人が人を頼れず落ちていく危険を食い止め、救った命を社会に返すための呼びかけは続きます。私は松田さんの3つの約束の重みを感じながら話します「我慢できない辛いことがあったら、牧場に帰っておいで、神様の作られた牧場は、疲れたあなた方を受け入れ、休ませてくれます。神様がきっと助けてくれますから、安心してここへ帰って来てください」と・・・ 牧場で読み上げられるこどもの作文から・・・〈ご飯を作ってくれる・悩みを聞いてくれる・部活の準備や宿題をみてる・不安や悩みをきいてくれること〉などなど、作文に込められた感謝の言葉は、産んでくれた親・スタッフ・学校の先生たちに向けたものです。



第32回収穫感謝祭に参加して

大垣教会 岡田敦子

穏やかな秋晴れの11月2日、まきばの家こどもの家収穫感謝祭に参加する機会が与えられ、役員一同感謝しています。高蔵寺教会集いでの小久保施設長のお話を聴き、もっとまきばの家こどもの家のことが知りたいと思っていた矢先、稲垣後援会長よりお誘いを受け実現いたしました。

頂いた冊子に掲載されていた作文の朗読「感謝していること」を一部抜粋します。「私の話を真剣に聞いてくれてありがとう。私の進路をいっしょに探してくれてありがとう。私が不安な時に話を聞いてくれるスタッフ、学校の先生に感謝しています。私の良いところを言ってくれてありがとう。自分に自信がもてるようになりました。」集いの時、小久保施設長は私たちの言動は常に試されていると仰っていましたが、こどもたちがスタッフの方々を信頼していることがよく伝わってくる作文でした。

待ちに待った昼食の時間。牧場の牛乳やヨーグルトを使ったメニュー、畑の野菜たち、無農薬ご飯、黒毛和牛のステーキまで、どれもこれもスタッフとこどもたちが考えた料理を美味しく頂きました。恒例のグループ別借り物競争では、こどもたちといっしょに走り、農機具を探し回りました。

このように貴重な時間を提供して下さった関係者各位に改めて感謝するとともに、こどもたちが主に守られ安心して社会に出て自立できますようにと祈ります。

次回はもっと皆さんとの交わり、施設の見学等体験してご報告したいと思います。



✦新しい教会・新しい気持ちで✦

なごや希望教会 真木雅子

今年の3月8日、待ちに待った「なごや希望教会」新会堂の献堂式が行われます。このアガパンサスが出る頃にはもう、私たちは新しい教会で礼拝を守り、讃美歌を歌い、神様に感謝のお祈りを捧げていることでしょう。

15年前に牧師末竹が、近隣の教会を合同するというミッションを受けて招聘され、その後話し合いの末、今池、自由が丘、名東3つの教会が今池の地で一つとなり、全く新しく会堂を建築する道を歩むことになりました。それぞれにカラーが違う教会の信徒が一つになり、愛着のある自由が丘と名東の土地を売り、今池に纏まるという答えを出すまでに何度も信徒会を開き、お互いが理解し合い、協力し合い、献金や奉仕の努力を重ねてきました。

今、一つとなって共に「新しい教会」で礼拝に与かる喜びをかみしめています。

尚、来年2月、東海教区女性会総会が、なごや希望教会の新しい会堂で開催される予定と聞きました。是非、その時にはお越し下さい。

導いてくださった神様、ご協力くださった多くの皆様に心から感謝します。



まきばの家こどもの家へクリスマスカードプレゼント

12月25日、午前0時。寝静まった子どもたちの寝室に、赤と



白の衣装に身を包んだスタッフが、こっそりと枕元にプレゼントを置いていきます。

かわいらしい寝顔を見ながら、バレないように、そう一っと。(ここまで仮装したのだから少し気づいてほしい・・・) そんな気持ちを抑えながら、スタッフサンタは寝室を後にしました。翌朝、いつもより早めに起きだす子どもたち。「みて！サンタがきたよ！」「ほら、お菓子もある！」一方で、サンタの正体を知っている中学生は『言わない優しさ』を持っています。幼児さんに声をかけます。「よかったじゃん！」と。プレゼントをもらえる日、イエスキリスト様が生まれた日、などと言われますが、なによりも心に優しい、ともしびを灯す季節でもあります。日本のみならず世界中のことに思いを寄せる日。「優しくありたい」と願い、人が寄り添い合う。なんとかなったから優しさを感じるわけではなくて、なんともできないけれどなんとかならないかと一緒に考えることが優しさなのではないでしょうか。クリスマスです。



今一度、優しい心を蓄えてほしいと思います。

小久保秀樹（まきばの家施設長）

2019年度東海教区女性会会計決算書および2020年度予算書						
					東海教区女性会会計	
款	項 目	19年度予算	19年度決算	20年度予算	備 考	
[収入の部]						
連盟	会費・会報	連盟会費(正)	520,000	504,400	468,000	2,600円×194名(2019年会員数)
		連盟会費(準)	0	5,200	0	2600円×2名
		会報購読料	36,000	41,800	36,000	41,800=500円×62+10,800(岡崎教会900円×12名)
	小計(a)	556,000	551,400	504,000		
	指定献金	連盟献金(b)	50,000	52,800	50,000	16教会
		感謝献金	100,000	81,500	80,000	17教会
	支援献金	サバ神学生	100,000	89,500	90,000	20教会
		リースコイン	70,000	69,058	70,000	19教会
		署名キャンペーン	30,000	32,600	30,000	20教会
		TNG支援	60,000	53,000	50,000	17教会
小計(c)	360,000	325,658	320,000			
合計A (a+b+c)	966,000	929,858	874,000			
教区	会費	教区会費(正)	320,000	310,400	288,000	1,600円×194名
		教区会費(準)	0	3,200	3,200	1,600円×2名
	小計(d)	320,000	313,600	291,200		
	総・大会役員 旅費積立金	当年献金額	40,000	38,800	36,000	200円×194名
		総大会旅費積立繰入	0	0	0	
	小計(e)	40,000	38,800	36,000		
	補助金	小計(f)	0	0	0	
	その他	利息	0	9	0	内訳:一般5円、旅費4円、次世代0円
		雑収入	0	18,350	0	グリーンズフェア売上
	小計(g)	0	18,359	0		
	特別献金	席上献金	160,000	146,000	100,000	女性会の集い:96,000円+50,000円
		指定献金	0	0	0	
	小計(h)	160,000	146,000	100,000		
支援献金	次世代育成支援	80,000	78,000	70,000	20教会	
	次世代育成支援補填	0	10,000	0	預金通帳より(前年度繰越金)	
	福祉村	70,000	93,000	70,000	21教会	
	まきばの家こどもの家	70,000	99,500	70,000	21教会	
あゆみの家	70,000	72,000	70,000	19教会		
小計(i)	290,000	352,500	280,000			
前年度繰越金(j)	582,089	582,089	592,631			
合計B (d~j)	1,392,089	1,451,348	1,299,831			
合計 (A+B)	2,358,089	2,381,206	2,173,831			
[支出の部]						
連盟	会費・会報	連盟会費(正)	520,000	504,400	468,000	
		連盟会費(準)	0	5,200	0	
		会報購読料	36,000	41,800	36,000	
	小計(a')	556,000	551,400	504,000		
	指定献金	連盟献金(b')	50,000	52,800	50,000	
		感謝献金	100,000	81,500	80,000	
	支援献金	サバ神学生	100,000	89,500	90,000	
		リースコイン	70,000	69,058	70,000	
		署名キャンペーン	30,000	32,600	30,000	
		TNG支援	60,000	53,000	50,000	
小計(c')	360,000	325,658	320,000			
合計A' (a'+b'+c')	966,000	929,858	874,000			
教区	活動費	事務費	100,000	74,235	80,000	
		通信費	20,000	6,778	10,000	
		役員会費	180,000	167,512	170,000	
		集会費	250,000	161,453	180,000	
		会長旅費	15,000	3,210	15,000	
		慶弔費	10,000	0	10,000	
		雑費	2,000	475	1,000	
	小計(d')	577,000	413,663	466,000		
	総・大会参加費用	小計(e')	0	0	0	
	支援金	特別支援金	80,000	82,000	70,000	席上献金(集い・原野廃止支援32,000円)+(会長・災害支援50,000円)
		次世代育成支援	100,000	88,000	70,000	
		福祉村	150,000	105,750	140,000	集い席上献金(32,000円)+グリーンズフェア売上(18,350円)
		まきばの家こどもの家	70,000	83,500	70,000	集い席上献金(32,000円)
あゆみの家	70,000	47,000	70,000			
小計(f')	470,000	406,250	420,000			
予備費(g')	305,089	0	262,631			
積立金繰出	役員旅費積立金繰出	40,000	38,804	40,000	受取利息4円	
	次世代育成支援繰出	0	0	0	受取利息0円	
小計(h')	40,000	38,804	40,000			
次年度繰越金(i')	0	592,631	111,800	支援金(あゆみの家、まきばの家・こどもの家、福祉村)事務費含む		
合計B' (d'~i')	1,392,089	1,451,348	1,299,831			
合計 (A'+B')	2,358,089	2,381,206	2,173,831			

ご報告 2020年1月25日会計監査で2019年決算の承認を頂きました。

当日1月25日役員会にて予算が承認されました。

感謝をもってご報告いたします。

会計 片川三枝子

お知らせ

第3回東海教区女性会の集い

名古屋めぐみ教会・小澤周平牧師

2020年5月16日(土)10:30~15:00

講演 : テーマ『ブラジル伝道で見たもの、気付かされたこと』

～自分の信仰のあり方～

講師 : 岐阜・大垣教会 徳弘浩隆牧師

徳弘牧師は10年間の宣教を終え1年前に帰国され岐阜・大垣教会で牧会されています。さて、どんなお話しが聞けるでしょうか?とても楽しみです。多くの方のご参加をお待ちしています。



名古屋めぐみ教会

地球の反対のブラジルには日本語で賛美歌を歌い礼拝する教会があります。異国で母国語の聖書を読み説教を聞くことは魂の死活問題。一緒に学び語り合い、食べたり、泣いたり笑ったりする「家族」でした。そのサンパウロ日系ルーテル教会はファヴェーラ(貧民街)の集会所でブラジルの貧しい人々の支援もしています。私たち夫婦も子供達に英語やパソコン、音楽などを教え始めると40人くらい集まり、しつけや教育を通して福音や将来への希望を伝えていました。

日本にはたくさんの外国人労働者がいます。異国で苦勞し、親子で言葉の壁もあります。

ブラジルの子たちの宿題を見てあげるボランティアに関わり始め、ケアの大切さを痛感します。私も、これらのことを通して、御言葉の大切さ、伝道奉仕の現実的な意味を学びました。教会は、私は、何ができるでしょうか?一緒に考える機会になればと思います。

大垣・岐阜教会牧師 徳弘浩隆



今後の予定

- 2020年5月16日 東海教区女性会集い 於:名古屋めぐみ教会
- 2020年11月 アガパンサス5号発行予定
- 2021年2月13日 東海教区女性会総会 於:なごや希望教会
- 2021年6月8・9日 女性会連盟・総大会 於:ホテル熊本テルサ(九州)

編集後記

アガパンサス4号を皆様にお届け出来たことを神様、牧師先生、会員皆様に感謝申し上げます。今回は会長会と、ブルンジ難民支援の講演の感想を中心に、皆様にご報告させて頂きました。今後も皆様のお声を広くお伝えしたいと思っています。 役員一同